

## ERE information

Vol.35 2019年2月21日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/勅使河原 豊  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

## Contents

- ▶第35回経済学検定試験：『EREミクロ・マクロ』の応募者数 過去最多を更新！  
——『ERE』の平均点は11.4点上昇、『EREミクロ・マクロ』は例年並み——
- ▶第30回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」：創価大学「経済学理論同好会A」チームが2連覇！
- ▶「大学対抗戦」優勝チームを表彰
  - ・土曜日、日曜日を使った勉強会が功を奏して！（優勝チーム 岡崎健太さん）
  - ・夢の実現に向け、力を合わせる！（準優勝チーム 古内智也さん）
  - ・貪欲なインプットと積極的なアウトプットの繰り返しで！（個人賞トップ 江本航夢偉さん）
- ▶委託会場制度利用のご案内
- ▶CBT経済学検定『EREミクロ・マクロ』試験の実施について
- ▶『EREミクロ・マクロ』試験の受験料改定と『ERE』試験の休止について
- ▶第36回ERE実施要領
- ▶第31回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！

## 《第35回経済学検定試験》

**『EREミクロ・マクロ』の応募者数 過去最多を更新！**  
**『ERE』の平均点は11.4点上昇、『EREミクロ・マクロ』は例年並み**

2018年12月2日(日)に実施いたしました第35回ERE、EREミクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回のEREとEREミクロ・マクロの合計応募者数は1,772名で、前回試験（第34回2018年7月実施）の合計応募者数（1,694名）を78名上回り、過去最多を更新しました。また、EREミクロ・マクロの応募者数は、1,697名で、こちらも過去最多を更新しました。特に応募者が多かったのは、追手門学院大学の280名、明海大学の257名でした。

成績概要は<資料1・2>のとおりです。

EREの平均点は、前回は11.4点上回る422.4点となりましたが、EREミクロ・マクロの平均点は、ほぼ例年並みの204.3点となりました。

## 《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	120.7点	132.6点	47.2点	42.6点	43.6点	35.7点
(前回)	121.5点	120.8点	47.9点	39.2点	43.6点	37.9点
標準偏差	34.23点	33.45点	21.64点	18.90点	23.39点	17.03点
(前回)	40.98点	42.63点	18.28点	21.17点	16.87点	19.77点

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	100.6点	103.7点
(前回)	106.4点	101.3点
標準偏差	44.50点	38.84点
(前回)	49.78点	45.97点

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	75名	1,697名
受験者数	58名	1,276名
平均点	422.4点	204.3点
標準偏差	107.24点	76.06点
最高得点	670点	460点
最低得点	220点	30点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	追手門学院大学	280	18	関東学院大学	14
2	明海大学	257	19	武蔵野大学	13
3	龍谷大学	55	19	九州産業大学	13
4	麗澤大学	54	21	首都大学東京	10
5	琉球大学	42	21	立正大学	10
6	日本大学	39	23	お茶の水女子大学	8
7	大阪産業大学	38	23	旭川大学	8
8	専修大学	28	25	名古屋市立大学	7
8	創価大学	28	25	拓殖大学	7
8	沖縄大学	28	27	明治大学	6
11	岡山商科大学	23	27	名古屋学院大学	6
12	青山学院大学	19	27	立命館大学	6
12	広島修道大学	19	30	新潟産業大学	2
12	国際教育交流基金	19	30	長岡大学	2
15	福島大学	18	32	弘前大学	1
16	酪農学園大学	17			
16	大阪経済大学	17		個人	678

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」＋「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	みずほ銀行	グローバルクレジット投資部	坂倉伊織	S
2			劉泓子	A+
3	専修大学	経済学部	古内智也	A+
3			—————	A+
5	アセットマネジメントOne株式会社	運用本部	鍛治篤	A+
6			白川太一	A+
7			清水邦敏	A
8			服部優生	A
9	中央大学	総合政策学部	千葉稜弥	A
10			廣瀬佑	B+
11			河原正明	B+
11	前川公認会計士事務所	所長	前川克博	B+
13	首都大学東京	都市教養学部	村上亮	B+
13	専修大学	人間科学部	河田泰明	B+
13			海老沢結	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1	日本大学	経済学部経済学科	北 原 寛 隆	S
2	京進ランゲージアカデミー	新宿校	任 清 源	S
2	創価大学	経済学部	江 本 航夢偉	S
2	明海大学	経済学部	島 本 昌 和	S
5			RAO XIAO	S
6			蔣 裕 超	S
6			虞 天 宇	S
6			FANG JIE	S
6	一般財団法人・国際教育交流基金	行知学園日本語学校	劉 菁	S
10			LIU ZHISHENG	S
10			GENG YI	S
10	創価大学	経済学部	鈴 鹿 広 輔	S
10	一般財団法人・国際教育交流基金	行知学園日本語学校	任 明 健	S
14			LI XINYUE	S
14			万 寿 嵩	S
14			李 天 呈	S
14			トウ コウ	S
14	横浜国立大学	経済学部経済学科	長谷川 洋 輝	S
14			中 島 拓	S
20			XU ZHUTING	S
20			ZHU WEIWEI	S
20			SHANG PENG	S
20			PAN TING	S
20			沈 仲 豪	S
20			WANG SHANSHAN	S
20			朱 昶 宇	S
20			WU NIANZHI	S
20	琉球大学	杉田ゼミ	國 吉 玲 音	S
29			劉 卉	S
29	創価大学	経済学部	岡 崎 健 太	S
29			呉 林 蔚	S
29			磯 部 耀 太	S
33			ZHEN JIALI	S
33			馮 澤 宇	S
33			チン ゼンゼン	S
33			楊 劭 溥	S
33			麻 生 直 哉	S
33	創価大学	経済学部	田 邊 萌慧子	S
33	一般財団法人・国際教育交流基金	行知学園日本語学校	王 軼 凡	S

## 《第30回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

### 創価大学「経済学理論同好会 A」チームが2連覇！

準優勝は専修大学「経済学検定選抜 A」チーム／個人賞トップは江本航夢偉さん

第30回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、10校22チーム、計148名で競われました。優勝は、創価大学「経済学理論同好会 A」チームでした。1,570点を獲得して、前回（第29回（2018年7月1日実施））に引き続いての優勝となりました。準優勝は、1,370点を獲得した専修大学「経済学検定選抜 A」チームです。第3位には、1,330点を獲得した創価大学の「経済学理論同好会 B」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、450点を得点した創価大学「経済学理論同好会 A」チームの江本航夢偉さんです。なお、個人賞は330点以上12名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は241.55点で、前回は29.15点下回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	経済学理論同好会 A	創価大学	1,570点	392.5点
準優勝	経済学検定選抜 A	専修大学	1,370点	342.5点
第3位	経済学理論同好会 B	創価大学	1,330点	332.5点

※参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4位までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

## 《「大学対抗戦」優勝チームを表彰》

### 連続優勝の創価大学「経済学理論同好会」を表彰！

創価大学「経済学理論同好会 A」チームは、前回（第29回（2018年7月1日実施））に引き続いての大学対抗戦連続優勝の栄冠を獲得いたしました。

去る1月31日（月）、優勝した創価大学「経済学理論同好会 A」チームを日本経済学教育協会事務局が訪問し、表彰をいたしました。当日は、優勝した創価大学「経済学理論同好会」の A チーム、B チームのメンバー（写真）、経済学部長の勘坂先生や学部事務長をはじめとする先生



優勝した「経済学理論同好会」チームのメンバー

方など多くの関係者の出席のもと行われました。

創価大学は、第8回（2007年12月2日実施）から第18回（2012年12月2日実施）まで11連覇を達成した実績があります。今回の優勝メンバーは、前回第3位に入賞したメンバーを中心に構成されており、第2期黄金時代の到来を予感させるものとなりました。今後も「大学対抗戦」に挑戦していただき、チームの連覇を期待しています。

## ■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

### ☆優勝 創価大学「経済学理論同好会A」

#### 土曜日、日曜日を使った勉強会が功を奏して！

この度は、第30回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」において、前回に続き2連覇を達成することができ、「経済学理論同好会」のメンバー一同、大変嬉しく思っております。多方面からサポートしてくださった大学関係者の皆様、先輩方、切磋琢磨し合った同期の仲間など、様々な方への感謝の気持ちでいっぱいです。

今回は、2年生2チーム、1年生1チーム、計3チームの構成で大学対抗戦に出場致しました。まだまだ若いチームであるため、EREの対策を通した個々の理論理解の深化、を念頭に置いて研鑽を積んで参りました。

学習の方法については、土曜日、日曜日を使った週2回のペースで勉強会を開催し、過去問を解き、理解が及ばない問題について調べ、解説を行うという方法を採用しております。この方法により、インプット・アウトプットのサイクルを何度も繰り返すことができ、基礎から応用への展開をスムーズにすることができたと考えております。

今回の優勝を、当会が持つ連覇記録更新への第一歩として捉え、今後の活動に尽力して参ります。他大学の皆様、次回もお手合わせをお願いいたします。

(創価大学 経済学理論同好会 岡崎健太さん)

### ☆準優勝 専修大学「経済学検定選抜A」

#### 夢の実現に向け、力を合わせる！

私たちの目標は、しばらく達成できていなかったEREミクロ・マクロ「大学対抗戦」での3位内入賞を成し遂げることでした。これまで、私たちのチームメンバーは大学対抗戦に2回挑戦しましたが、3位内の入賞には至らず、今回は3度目の正直という気持ちで、全力で取り組みました。今回私たちのチームが久々に入賞を成し遂げられたのは、チームのメンバーそれぞれが率先して勉強会の企画をし、それに互いが参画したことで、力を合わせて試験に挑むことができた結果だと思います。

私たちの夢は、石川秀樹先生のご指導とERE試験に取り組む中で培った経済の知識を発揮し、国家公務員採用総合職試験に合格することです。これは狭き門であり、非常に難しい試験です。今回のEREの試験勉強を通じて知識を豊富に蓄えることができ、準優勝という結果を残せたことは、国家公務員採用総合職試験の合格を見据える私たちにとって大きな自信になりました。これからもチーム一同は自身の夢に向かい、精進していきます。

(専修大学 経済学検定選抜A 古内智也さん)

### ☆個人賞トップ

#### 貪欲なインプットと積極的なアウトプットの繰り返しで！

この度は、第30回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」において、本校の連覇、並びに個人賞トップを獲得することができ、大変嬉しく思います。この結果は、前回の大学対抗戦において優勝し、私たち後輩に道を拓いてくれた先輩方や、大学関係者の皆様、家族、友人など周囲の大きな支えがあったからこそ勝ち得たものであり、感謝の思いが尽きません。

私はEREに挑戦するにあたり、理論理解を明確にすることに重きを置いて学習に取り組みました。そのため、実際に問題を解き、正解した問題であっても、自分の論理に少しでも違和感があれば、納得できるまで悩み続けました。また、そうして得た知識をチーム内で共有しあうことで、基礎概念の定着と更なる違和感の発見を同時に行ってきました。このような、貪欲なインプットと積極的なアウトプットを繰り返すことで、応用問題に対しても動揺せず、問題の本質を見極めることができたことが今回の結果につながったと思います。

今大会を通して培った学びを糧に、今後も経済学の理解を深めていきます。

(創価大学 経済学理論同好会A 江本航夢偉さん)

## ▶委託会場制度利用のご案内

現在、全国に11の本会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、該当県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに20団体を超える大学に登録・実施をいただいております。少しずつ全国に広がりを見せている制度です。どうぞご利用ください。

### ●委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

### ●委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

- ① 協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。
- ② 受験申込者数が2種目（E R E／E R Eミクロ・マクロ）の合計で10名以上であること。
- ③ 試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。
- ④ その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

### ●試験実施までの流れ

〈試験前に行っていただくこと〉

- ① 到着資材の確認
- ② 試験問題等重要資材の保管

〈試験当日〉

運営方法を記した『試験実施規程』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

〈試験終了後〉

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同じの手続きにより採点し、成績結果を通知します。

### ●実施手数料のお支払い

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用FD願書のご請求時に所定の用紙「委託会場設置届出書」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

### ■検定試験運営センター■

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

Tel：03-3267-4821 Fax：03-3267-4999 e-mail：info@ere.or.jp

## CBT 経済学検定『EREミクロ・マクロ』試験の実施について

経済学検定試験は、従来、年2回（7月、12月）マークシート方式によって、全国一斉に同一時間帯で試験を実施してまいりましたが、2019年5月より、『EREミクロ・マクロ』試験をCBT（Computer Based Testing）化し、コンピュータで試験を実施することとなりました。

詳細は、3月下旬～4月上旬に、お申込み方法や試験内容を記載した文書を関係各位にご送付し、また当会ホームページにその内容を掲載してご案内いたしますが、概要は次のようになります。

### ■CBT『EREミクロ・マクロ』試験の概要■

#### ・出題科目と出題範囲

＜ミクロ経済学（25問）＞

消費者理論／企業の理論／市場の均衡／不完全市場・ゲーム理論

＜マクロ経済学（25問）＞

経済統計・学説／消費・投資／金融・財政／経済政策／動学的分析

- ・出題形式 四択択一式50問（1問10点 500点満点）
- ・試験時間 90分
- ・受験料 4,000円＋税
- ・受験地
  - ・全国約200のPC設置会場（テストセンター）
  - ＊ J-Testingの専用サイトから申込み  
<http://j-testing.jp/>
  - ・当会が認める「認定委託会場」（大学等）
- ・試験結果 即時判定（得点、結果レポートの表示）

※ マークシート方式による、従来の経済学検定試験（ERE／EREミクロ・マクロ）は、CBT試験の実施に伴い、2019年度（第36回、第37回）試験をもちまして終了とさせていただきます。

## 『EREミクロ・マクロ』試験の受験料改定と『ERE』試験の休止について

経済学検定試験は、2002年3月実施の第1回試験より、2018年12月実施の第35回試験までの16年間、受験料を据え置いてまいりました。しかし、試験運営にかかる諸費用の高騰、増加のため、次回の第36回試験（2019年7月7日（日）実施）より、『EREミクロ・マクロ』試験の受験料を下記のとおり改定させていただくことになりました。また、『ERE』試験は第37回試験（2019年12月1日（日）実施）をもちまして、当面の間、休止とさせていただきます。何卒、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

### ＜2019年7月7日（日）実施 第36回経済学検定試験からの受験料＞

- ・EREミクロ・マクロ  
（改定前）3,000円＋税 ⇒（改定後）4,000円＋税
  - ・ERE 5,000円＋税（受験料据置き）
- ＊第37回試験をもって、EREは当面の間、休止とさせていただきます。

— 経済学の学習到達度を測定 —

## 2019年度 第36回 E R E 実施要領

### 『E R E』（6科目）

実施回	第 36 回
試験日	2019年7月7日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2019年4月17日（水）～2019年5月17日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4 答択一式／90問，1 問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

### 『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 36 回
試験日	2019年7月7日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2019年4月17日（水）～2019年5月17日（金）〈消印有効〉
受験料	4,320円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
出題形式	4 答択一式／50問，1 問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

## 第31回 E R E ミクロ・マクロ 「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2019年7月7日(日)実施 ●受付期間：2019年4月17日(水)～5月17日(金)〈消印有効〉

●前回まで参加した55校（50音順）

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／  
大阪産業大学／大阪商業大学／大阪府立大学／岡山商科大学／小樽商科大学／  
鹿児島大学／金沢大学／九州大学／京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／  
群馬大学／慶應義塾大学／埼玉大学／札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／  
創価大学／高崎経済大学／拓殖大学／中央大学／筑波大学（同大学院）／帝塚山大学／  
東京大学（同大学院）／東京理科大学／同志社大学／東北大学／東洋大学／  
長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／名古屋学院大学／名古屋経済大学／  
新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／福岡カレッジ・オブ・ビジネス／  
福島大学／北海道大学／北海道教育大学／武蔵大学／武蔵野大学／明治大学／  
山形大学／立命館大学／琉球大学／和光大学／早稲田大学